

BIRDJAPAN 募金／支援活動報告書

団体名 石川県バドミントン協会

名称	がんばろう能登プロジェクト 第3弾 被災された能登地区の子どもたちへのバドミントン環境を整える 【～夢中にバドミントンができる機会を～】
種別	被災地での活動 / 被災地外での活動 (いずれかに○をすること)
目的の達成度	<p>目的達成度：100%</p> <p>効果：能登地区の高校生1・2年生100名（能登地区7割程度）近くが参加した。（初心者が大半）普段練習できないメニューやノックの球出しを受けることで1日がすぐ終わってしまった感じでした。まだ、練習したいという選手たちも多数いました。中高生の笑顔を見ることができたことは、このプロジェクトを実施したかいがありました。</p> <p>選手：バドミントンを通じて元気・笑顔を取り戻していた。バドミントンの楽しさを知る・感謝の気持ちを持てる選手の育成選手たちに感想を聞くと、体験したことのないトレーニングやノック、メニューがあり楽しく1日を過ごせたと言っていました。</p> <p>指導者：最先端の指導方法を学ぶ機会になりましたし、メンタルの講義などを通して選手たちとの関わり方を学ぶことができていた。</p> <p>総括：このような企画をもっと実施していき、競技人口の増加及び競技力向上を成し遂げたい。また、未経験者を取り込み、バドの楽しさをわかるような企画を検討していきたい。そのために誰にでも触れ合うことができるため、9月にエアバドミントンの体験会を行なう予定である。</p> <p>企画を通して ⇒ <u>高校生からジュニア世代へ拡大</u> ⇒ 地域のバドミントンの活性化 ⇒ 被災地の方々の自立 【バドミントンを通じた持続的な支援に向けたムーブメントをつくる】</p>
具体的な内容 (実施日時・会場・参加人数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・期日 7月20日（土） ・会場 鹿島体育センター（中能登町） ・主催 石川県バドミントン協会 ・主管 石川県高体連バドミントン専門部 ・対象 能登地区の中学生・高校生及び県内指導者 ・参加者／協力者 石川県バドミントン協会員 石川県高体連バドミントン専門部員 石川県中体連バドミントン競技部員 <p>講師：漆崎真子（AKUA BADMINTON コーチ） 筑波大学関係者2名、関東学生連盟2名、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 中高生136名＋指導者20名 ・実施概要 別紙参照
その他	写真は別途添付



院大附 64・29羽昨、布水 65・54輪島
中島 54・44緑丘

小竹ゴール

白山は高橋康平、藤井陽平、小竹銀蔵、板橋琉聖、GK富田祐耶が先発した。1点を先制された白山は前半8分に高橋が同点弾を決めた。後半9分には芝原悠世のゴールで勝ち越した。このまま逃げ切れるかと思ったが、試合終了残り6秒で同点ゴールを決められた。それでも白山はラストチャンスに懸けた。執念を見せて、残り3秒で小竹がシュートを決め、土壇場で勝利をつかんだ。

▽第7節
白山 3(2)1(1)2 高橋

「がんばろう能登プロジェクト」(北國新聞社後援)は20日、中能登町鹿島体育センターで行われ、羽咋市以北の中学、高校バドミントン部の約100人が一流指導者の技を学んだ。

元実業団選手の漆崎真子さんが講師を務め、生徒はシャトルの基礎的な打ち方や大舞白での精神の保ち方を教わった。輪島高2年の馬場広和さん(16)は「練習する場所が制限されているので、こういう機会は大変うれしい」と笑顔を見せた。27日は小学生向けに行われる。

指導を受ける参加者
|| 中能登町鹿島体育センター





